

福音新聞

Good
News
NO.5



発行：東海東キリスト教会 <https://toyokawa-cgc.com/hamamatsu/>



『**神**は言われます。「わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。」確かに、今は**恵**みの時、今は**救**いの日です。』— 聖書 —

あなたがたは、
救われていますか？

昭和29年9月26日の夜、台風15号の直撃をうけて、洞爺丸が函館沖で転覆し、約千人が死亡又は行方不明になりました。日本で起こった最も大きな海難事故でした。死亡した犠牲者の中にアルフレッド・ストーン、デイン・リーパーという宣教師がいました。彼らは救命具のひもが切れたと言って泣いていた女性たちに自分の救命具を渡し、「あなたがたは、救われていますか？」と尋ねました。すると彼女たちは「私たちは助かりたいの」と答えました。宣教師たちは「私たちは救われています。けれども、あなた方は救われていませんね。ですから助かったら、必ず教会へ行って、救われてください。」と告げました。宣教師たちは、自分たちが乗るべき救命ボートに彼女たちを乗せました。

その後、船は転覆し、水が船内に流れ込み乗客の頭から水が覆ってきました。救命ボートに乗り移った人々でさえ、助からない人が出ましたが、彼女たちは助かりました。しかし、宣教師たちは多くの人々と共に、海の中に沈んでいきました。その後、彼女たちは宣教師に言われた通り、教会を探し、救いを受け入れました。そして彼女たちが証したことにより、この出来事は明るみに出しました。

救われなければ ならない理由

ストーン宣教師たちは「私たちは救われている」と語りましたが、その時点で海難事故による死の危険から救出されていま

せんでした。では彼らの「救い」とは何を意味していたのでしょうか？それは聖書に記されている、罪人に下るさばきからの救いについてです。

神の御言葉である聖書には、『人間には、一度死ぬことと、死後にさばきを受けることが定まっている』と記されています。

全ての人は死後、神の御前においてさばかれなければならない罪人であり、さばきの場所である地獄に投げ込まれ、そこで永遠に苦しまなければならないのです。神は人間の心の中を全てご存知です。『また言われた。』
「人から出るもの、これが、人を汚すのです。内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺

人、姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、これらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです。』(新約聖書)そして人の犯している最も大きな罪は

『「彼らの目の前には、神に対する恐れがない。』(新約聖書)であり、神のご存在を全く無視し、軽んじていることです。真の神は確かにご存在されます。そして誰にも、その御方のご存在を否定することは出来ないのです。何故ならば、この御方の創造されたものによって誰でもはつきりとわかるからです。

『天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。』『天を創造した方、すなわち神、地を形造り、これを仕上げた方、すなわちこれを堅く立

てた方これを茫漠としたものに創造せず、人の住みかこれに創造した方、まことに、これを形造った方、まことに、この【主】がこう仰せられる。「わたし【主】である。ほかにはいない。」(旧約聖書)

『神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物(人間)によって知られ、はつきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。』(新約聖書)

もし、このまま神のご存在を否定し続け、さばかれるべき罪人であることを認めないなら、聖書に記されてある永遠の地獄に、投げ込まれなければなりません。ですからご自分が救われなければならぬ罪人である

ことを認めて頂きたいのです。では、救われるためには、どうしたら良いのでしょうか？

イエス・キリスト による救い

ストーン宣教師たちは女性たちに「教会に行って、救われてください。」と勧めましたが、それは教会において、救いについて語られているからです。それは、神の御子であられる、イエス・キリストによる救いです。キリストは今から約2千年前、人となりこの世に下って来られました。キリストは私たちの犯した全ての罪を赦すために、身代わりとなり、十字架に架かられ、さばきをその身に受けられました。そして死後三日目に、葬られた墓より

復活され、

ご自身が

真の救い

主である

ことを示され

ました。この

キリストを、自分の救い主として信じ受け入れるなら、誰でも罪を赦され、永遠の天の御国に行ける方とされるのです。復活を目撃した弟子たちは命を懸けてイエス・キリストを宣べ伝えました。事実、キリストを信じた信仰者たちの多くが殉教の死を受け入れました。それは彼らが救われていて、死後のさばきを受けることなく、永遠の天の御国に入れることを確信していたからです。



神が全ての人に 求めておられること

ストーン宣教師たちは、救い主であられるキリストを宣べ伝えるために日本に来ました。そして海難事故に遭い、滅びに向かっている人々の救いを願いつつ、この世を去って行きました。彼ら宣教師たちに、人が救われることの願いを与えられたのは神であり、そしてその御方こそが最も求めておられるのです。

『神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。』（新約聖書）

神は私たちに救いをお与えになるために、最愛なるひと

り子、イエス・キリストをこの世に送って下さったのです。どうかイエス・キリストを信じ受け入れ救われてください。ますように、お勧めいたします。

聖書講演会のお知らせ

12月23日(土)

第1回 10時30分～

第2回 13時30分～

静岡市民文化会館
2階 第2会議室

入場無料

※文化会館駐車場ご利用の場合は、30分100円必要です。

託児の用意もございます。お子様をお連れの方もお気軽にどうぞ。

当日のお問い合わせは、080-3642-1795 榊原まで



教会ホームページ
はこちらからどうぞ

東海東キリスト教会

牧師 畑川 洋一郎
副牧師 榊原 康博

〒430-0852 浜松市中区領家3丁目22-2 TEL (053) 548-4812

※ 当教会は、エホバの証人（ものみの塔）、世界平和統一家庭連合（旧統一協会）、末日聖徒キリスト教会（モルモン教）などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡下さい。